

大分工業高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)		授業科目	日本史
科目基礎情報						
科目番号	30M104			科目区分	一般 / 必修	
授業形態	授業			単位の種別と単位数	履修単位: 2	
開設学科	機械工学科			対象学年	1	
開設期	通年			週時間数	2	
教科書/教材	小風秀雅ほか著、『新選日本史B』, 東京書籍.					
担当教員	上野 淳也					
到達目標						
(1) 歴史における事実相互の関係を考え、それぞれの時代像を構築することができる.						
(2) 平和で民主的な未来を築いていく為の糧となるように授業を展開する.						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	時代像を十分に構築することができる.		時代像をある程度構築することができる.		時代像を構築することができない.	
評価項目2	平和で民主的な未来を十分に構築することができる.		平和で民主的な未来をある程度構築することができる.		平和で民主的な未来を構築することができない.	
学科の到達目標項目との関係						
学習・教育到達度目標 (A1)						
教育方法等						
概要	古代から現代へ至る日本史の展開の中において、各時代相互の関連性を学び、事実相互の関係を考える力を養う。また、学んだ知識が民主的な未来を築いていく為の糧となるように授業を展開する。 (科目情報) 前期1コマ, 後期1コマ					
	授業時間 46.5時間					
	関連科目 世界史					
授業の進め方・方法	原始社会の生活と文化、農耕社会の形成、大陸文化の摂取、律令国家の形成、貴族政治・荘園と武士団の成長、鎌倉幕府の成立、執権政治の展開、元寇と御家人社会の変質、室町幕府の成立、下克上の社会と戦国大名、ヨーロッパ文化との接触と国内統一、幕藩体制の危機、開国と幕府の滅亡、近代国家の成立と富国強兵、立憲政治の形成、日清戦争と日露戦争、第一次世界大戦、日中戦争と太平洋戦争、占領と国内改革、国際社会への復帰と高度経済成長、石油危機と低成長の時代、新しい国際秩序と日本の課題、等々について学習する。 (再試験について) 再試験は、総合評価が60点に満たない者に対して実施する.					
注意点	(履修上の注意) 予習・復習をすること。 (自学上の注意) 授業内容をそのつど復習すること.					
評価						
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	原始社会の生活と文化 (旧石器・縄文)		旧石器・縄文時代について理解できる.	
		2週	農耕社会の形成 (弥生)		弥生時代について理解できる.	
		3週	大陸文化の摂取 (古墳)		古墳時代について理解できる.	
		4週	律令国家の形成 (推古朝・大宝律令)		推古朝・大宝律令について理解できる.	
		5週	律令国家の形成 (奈良時代・平安時代)		奈良時代・平安時代について理解できる.	
		6週	貴族政治・荘園と武士団の成長 (平安)		貴族政治・荘園と武士団の成長について理解できる.	
		7週	鎌倉幕府の成立		鎌倉幕府の成立について理解できる.	
		8週	執権政治の展開		執権政治の展開について理解できる.	
	2ndQ	9週	前期中間試験			
		10週	前期中間試験の解答と解説 元寇と御家人社会の変質		元寇と御家人社会の変質について理解できる.	
		11週	室町幕府の成立		室町幕府の成立について理解できる.	
		12週	下克上の社会と戦国大名		下克上の社会と戦国大名について理解できる.	
		13週	ヨーロッパ文化との接触と国内統一		ヨーロッパ文化との接触と国内統一について理解できる.	
		14週	幕藩体制の成立		幕藩体制の成立について理解できる.	
		15週	前期期末試験			
		16週	前期期末試験の解答と解説			
後期	3rdQ	1週	近世社会の発達		近世社会の発達について理解できる.	
		2週	近世社会の動揺と対外問題の発生		近世社会の動揺と対外問題の発生について理解できる.	
		3週	幕藩体制の危機		幕藩体制の危機について理解できる.	
		4週	開国と幕府の滅亡		開国と幕府の滅亡について理解できる.	
		5週	近代国家の成立と富国強兵		近代国家の成立と富国強兵について理解できる.	
		6週	立憲政治の形成		立憲政治の形成について理解できる.	
		7週	日清戦争と日露戦争		日清戦争と日露戦争について理解できる.	
		8週	後期中間試験			
	4thQ	9週	後期中間試験の解答と解説 第一次世界大戦		第一次世界大戦について理解できる.	
		10週	日中戦争と太平洋戦争		日中戦争と太平洋戦争について理解できる.	

		11週	占領と国内改革	占領と国内改革について理解できる。
		12週	国際社会への復帰と高度経済成長	国際社会への復帰と高度経済成長
		13週	石油危機と低成長の時代	石油危機と低成長の時代について理解できる。
		14週	新しい国際秩序と日本の課題	新しい国際秩序と日本の課題について理解できる。
		15週	後期末試験	
		16週	後期末試験の解答と解説	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	社会	地理歴史的 分野	民族、宗教、生活文化の多様性を理解し、異なる文化・社会が共存することの重要性について考察できる。	3	
				帝国主義諸国の抗争を経て二つの世界大戦に至る日本を含む世界の動向の概要を説明し、平和の意義について考察できる。	3	
				第二次世界大戦後の冷戦の展開からその終結に至る日本を含む世界の動向の概要を説明し、そこで生じた諸問題を歴史的に考察できる。	3	
				19世紀後期以降の日本とアジア近隣諸国との関係について、その概要を説明できる。	3	

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	100	0	0	0	0	0	100
基礎的能力	100	0	0	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0